

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成22年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立なかとみ青少年自然の里	所管課	社会教育課
所在地	南巨摩郡身延町平須306	設置年月日 (改築年月日等)	昭和62年6月
管理方式	指定管理者(身延町、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立青少年自然の里設置及び管理条例		
設置目的	①自然の中で、集団生活を通じて自律、協同などを体験的に学習する場を提供すること。 ②主催事業の実施を通じ、自然の中でふるさとを愛するたくましい青少年を育成する機会を提供すること。		
主な施設内容 (定員等)	宿泊棟:宿泊室(28人)×1、宿泊室(24人)×3、リーダー室(2人)×4、 食堂(100人)、談話室(15人) キャンプ場:炊事場、バンガロー2棟、スペースキャビン5棟、テントサイト13カ所		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用の承認に関する業務 ○ 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 ○ 集団生活を体験させる集団宿泊訓練に関する業務 ○ 地域における生活文化の経験学習に関する業務 ○ 野外観察、自然探求その他の自然に親しませる学習活動に関する業務 ○ 野外活動及びレクリエーションに関する業務 ○ その他教育委員会が必要と認める業務 		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	(1) 身延町立陶芸工房(定員60名)、和紙工房(定員50人)、体育館(505m ²) (2) 山梨県立ゆずりはら青少年自然の里:H22利用人数9,908人
-------------------	---

3. 利用状況

単位:人、%

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度 (目標値)
利用者数	本館宿泊利用	6,635	6,810	6,980	
	キャンプ場宿泊利用	673	626	634	
	日帰り利用	1,223	1,200	1,130	
	利用者数合計	8,531	8,636	8,744	
	目標値	8,300	8,300	8,700	8,000
	目標値設定の考え方	これまで遞減的に推移してきたことから、減少を食い止めることを目標とした(平成16年度と同程度)	これまで遞減的に推移してきたことから、減少を食い止めることを目標とした(平成16年度と同程度)	過去2年の実績が増加傾向にあることから、前年度実績を上回る数値を目標とした	過去実績から、震災・計画停電による4月以降キャンセル分を勘案し調整
	対20年度比	100.0%	101.2%	102.5%	93.8%
	稼働率	39.8%	43.8%	51.0%	

4. 収支状況

単位:円、%

		平成21年度	平成22年度 (計画値)	平成22年度 (実績値)	平成23年度 (計画値)
収入	施設利用料				
	指定管理者委託料	20,617,000	20,799,000	20,799,000	29,148,000
	その他	15,000	0	87,000	0
	収入合計(A)	20,632,000	20,799,000	20,886,000	29,148,000
支出	人件費	5,015,970	5,560,000	5,506,167	14,389,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	14,353,225	15,239,000	14,643,533	14,759,000
	(うち外部委託費)(B)	6,843,925	7,011,000	7,115,416	6,931,000
	支出合計(C)	19,369,195	20,799,000	20,149,700	29,148,000
収支差額(A-C)		1,262,805	0	736,300	0
外部委託比率(B÷C)		35.3%	33.7%	35.3%	23.8%
利用者一人当りの経費		2,387	2,391	2,379	3,644

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成22年4月～22年3月、実施方法:県立なかとみ青少年自然の里利用団体へのアンケート、回答数:61団体
-------	---

単位: %

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①利用料金	95.1%	0.0%	1.6%	3.3%
②申し込み方法	90.2%	0.0%	6.5%	3.3%
③設備・備品の状況	78.7%	11.5%	1.6%	8.2%
④活動内容	77.1%	11.5%	1.6%	9.8%
⑤施設利用全般の満足度	88.5%	3.3%	1.6%	6.6%
⑥食堂の食事について	72.1%	6.6%	3.3%	18.0%
各項目の平均	83.6%	5.5%	2.7%	8.2%

※調査項目は、施設ごとに適宜変更する。

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> 施設内がとてもきれいで、気持ちよく過ごせた。 雨天時向きのプログラムが充実すると助かる。 かまどの数がもう少しあるとよい。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> 絵画、墨彩画などの新プログラムを企画検討し、提供したいと考えている。 かまどについては、スペースの都合上増設はできないが、不足時には移動式かまどで対応をしていく。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	施設利用者が安全かつ快適に利用できるように常に点検を行い、必要に応じて修繕等を行った。食堂業務については、アレルギー対応を含め、利用者の要望に可能な限り応じるよう努めた。	業務仕様書、業務計画書どおり適正に実施されている。
運営業務	日常では体験できない自然体験・生活体験・交流体験・創造体験・郷土食体験等を行えるよう、利用者への指導や支援及び食事の提供を行った。	里山の立地を有効に活用した各種プログラムを提供している。 また、主催事業においても参加者からの意見を集め、計画の参考とするなど、運営に関して努力している。
自主事業		
利用状況	県外からの利用団体が増加し、昨年度より総利用者数は1.3%増加した。	3月に発生した東日本大震災やその後の計画停電の影響により、春休み利用が全てキャンセルになったものの、それまでの間に県外をはじめ多くの方に利用いただいた。今後も、県内外の広報活動に努め、利用者の確保を図ること。
収支状況	受水槽や厨房冷凍冷蔵庫の経年劣化による修繕や、火災警報受信機の電池交換等の緊急修繕により、修繕費が増加した。 燃料費は、効率的な使用と昨年度末購入分の残があったため減少した。	施設の老朽化に伴う修繕をしつつ、経費節減の努力により概ね計画どおりの支出状況となった。
利用者満足度	施設までのアクセスについて、道路が狭い等改善を望む声が34%に上る。しかし、「施設全般において満足か」の設問では88.5%が「満足」「やや満足」と回答している。今後も気持ちよく利用頂けるよう、全職員で努力していく。	利用者アンケートにより、対応可能な意見については、すみやかに対応がなされていた。主催事業においても利用者の声を参考にし、事業計画に反映させるよう努めること。
運営目標の達成状況	<p>○H22 利用者数目標値 8,700 実績 8,744</p> <p>○H22 主催事業参加者数目標値 580 実績 399</p> <p>○利用者数は、東日本大震災後の計画停電等の影響により春休み利用が全てキャンセルになったものの、目標値を上回る実績であった。</p> <p>○主催事業参加者数は、参加を予定していた方の実施日直前のキャンセル等もあり、目標値に達しなかった。</p>	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	<p>開所から24年を経て、施設の老朽化はあるが、施設内外はよく整備をされていた。</p> <p>H22年度は避難訓練の実施が無かったが、非常時に職員が適切な行動をとり、利用者の安全を確保するのに欠かせないものであることから、必ず実施するよう指導した。</p> <p>また、県外利用者増が見られたのは、HPの効果やリピーター確保によるものと思われる。今後も積極的な広報活動を展開し、利用者の増加を図ること。</p>	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	<p>避難訓練については、今年度新規の職員が増えたことから、利用者に影響の無い日を選び実施する。</p>	

7. 管理体制(組織図)

